

ベーシック・サービスを知っていますか？ ～弱者を救う社会ではなく、弱者を作らない社会～

2022年度連合熊本推薦議員団学習会



熱弁の井手英策教授

2022年9月17日(土)、連合熊本推薦議員団(団長 西聖一県議、事務局 連合熊本)はくまもと森都心プラザにおいて、2022年度学習会を開催しました。

貧困問題がますます大きくなっていることから、今年の学習会は連合も政策に掲げる「ベーシック・サービス」の提唱者である慶應義塾大学 井手英策教授を招いて、ベーシック・サービス制度とはどのような制度なのか、その効果等について学びました。講演後は質疑の時間を設け、推薦議員の他、大学生からも質問があり、井手教授はそれぞれに丁寧に答えました。“みんなが誇りをもって生きられる社会に変えるために訴え続ける”という井手教授の熱い思いに触れ、参加者の多くが心を揺さぶられた学習会となりました。

以下、講演の一部をご紹介します。

現役世代への社会保障は先進国で下から3番目

社会保障費の総額は先進国の平均以上だが、多くはお年寄りに向かっており、現役世代への社会保障はOECDの中で、トルコ、アメリカに次ぎ下から3番目。社会保障はもっと現役世代に向かわせなければならない。

2人以上の世帯の3割、1人世帯の5割は貯蓄がない

共働き世帯は平成の間に60%増えたが、世帯収入は未だに1997年に届かない。収入300万円未満の世帯が3割で、貯金がないと安心して生きていけない社会であるのに、2人以上の世帯の3割、1人世帯の5割は貯蓄がない。貧困率は先進国32か国で9番目。

簡単に働くことができなくなる可能性

日本の労働者の感じ方
「失業の心配がない」40位/41か国、「収入が多い」36位/41か国、「仕事がおもしろい」39位/41か国、「個人的理由で1～2時間仕事を離れられる」39位/41か国、「ストレスを感じる」3位/41か国

劣悪な労働環境であり、仕事ができなくなったら、生きてさえいけなくなる可能性が誰にでもある。

弱者の意図的な放置、残酷でみつともない社会

政府の責任か？との問いに反対する者の割合

「病人が病院に行けるようにすること」1位/35か国、「高齢者の生活を支援すること」1位/35か国、「失業者の暮らしを維持すること」2位/34か国、「貧困世帯の大学生への支援」1位/35か国

日本社会は自己責任があたりまえと思いつている。

弱者への無関心どころか、意図的な放置が起きている。

ベーシック・サービス制度とは

教育・医療・介護・障がい者福祉等の人間生活に最低限かつ必要なサービス(ベーシック・サービス)を無償化する。金の直接配布で膨大な予算を必要とするベーシック・インカム制度との違いは、基礎的なサービスに絞る点であり、限られた予算で対応可能。例えば、10万円の国民一律給付の財源(13兆円)があれば、14～15年分の幼保無償化が可能。また、生活保護等の所得制限のある制度と違い、所得に関係なく全員を対象者にしてしまえば、施しではなく「当然の権利」となり、中間層も貧困層も関係なく、誇りを持った生活ができる。さらに、所得審査

も不要であり、公務員を別の業務に振り分けることもできる。

ゆるされる格差と悪い格差

ベーシック・サービスの利用に差があるのは悪い格差。ベーシック・サービスをみんなが利用できたうえでの格差なら仕方がない。

結果として格差は正に

学費や医療の無償化といったベーシック・サービスによる恩恵の意味は、貧しい人ほど大きくなることから結果として格差は正にもなる。

貯金ゼロでも不安ゼロ。その結果、経済活性化にもつながる

財源は消費税を中心にした税の引き上げ。税金は増えるが、教育や病気、介護等の不安に備える貯金の必要がなくなる。現在は必要以上に貯蓄をしている人が多く、不安がなくなればその分消費も増え、経済も活性化する。

10万円一律給付は愚策、消費税減税はもっと愚策

自公政権はコロナ禍に10万円を一律支給した、愚策。しかし、選挙で野党が主張した消費税減税はさらに愚策。なぜなら困窮層が払う消費税は年8万円、富裕層は24万円。消費税を払わないということは富裕層に24万円、貧困層に8万円を配るのと同じ意味。そうではなく、税金をしっかりとって、人間生活に最低限かつ必要なサービスの無償化に使うことが大切。

税をとって使うは当たり前議論

アメリカやイギリスでさえ、増税を財源として教育を無償化したり、介護の自己負担に上限を設定する提案を行った。

連合熊本は以下の候補予定者を推薦決定しています。

菊陽町長選挙 (10月2日投開票予定)



阪本としひろ(新人64歳)
第11回執行委員会において推薦決定

宇土市議会議員選挙 (10月16日投開票予定)



藤井慶峰(4期 68歳)
第9回執行委員会において推薦決定

熊本市長選挙 (11月13日投開票予定)



大西一史(2期 54歳)
第12回執行委員会において推薦決定

構成組織・地協紹介 私鉄総連熊本県協議会

私たち私鉄総連は、1947年に結成され全国で229組合、約10万人の組合員が加盟しております。結成されてから今日まで生活と雇用、労働条件の維持、改善と平和な社会を築く運動を一貫して進めてきました。組合員の求める課題を実現するためには、一組合員だけの運動にとどまっては難しいとの思いから、北は北海道から南は九州、沖縄までのネットワークを作り、運動の経験を交流する中で、力を合わせ、多くの課題を克服してきました。鉄道、バス、ハイヤー、タクシー、その他様々な職場で働く皆さんと手を携えて、私鉄総連は、今の職場、世の中を変えるべく日々頑張っている活動しています。公共交通を担う私たちの産業も近年の新型コロナウイルスの感染拡大により大きく影響を受けて思うような活動が行えておりませんが、状況を注視し感染予防しながら活動していきたいと思っています。



お気に入り紹介 大衆酒場 湊家

今回紹介するのは、「大衆酒場 湊家」です。国道387号線、熊本電鉄御代志駅から北へ車で1分、徒歩でも5、6分程のところにあります。新鮮なお刺身や串焼など、定番からオリジナルまでメニューも大変豊富です。中でもホルモン味噌煮込みは絶品。スタ

ッフさんも元気で明るく居心地の良いお店です。テイクアウトもしていますので是非ご賞味下さい。

大衆酒場 湊家
熊本県合志市御代志1600-1
TEL 096-201-1181



編集後記

井手英策教授の講演を聞くことができました。誰もが生きる上で最低限必要なサービスを当然の権利として受けることができれば、社会の分断を招かずに安心社会を築くことができます。結果必要以上の貯蓄は消費に回り、経済も活性化すること話されました。生産性が上がらないことが日本社会の大きな問題ですが、安心して生きていける社会保障を整えることができれば、転職の勇気や起業の勇気も得ることができます。自分の適性によってやり直しができれば、個人の幸せの増大はもちろん、結果的に生産性の高い社会に変わるのではないのでしょうか。そういった観点からも、ベーシック・サービスを始めとした、社会保障の充実を私たちは進めなければならないと思います。(talk to me)

Topics RENGOKUMAMOTO

連合熊本「女性委員会学習会」

日時 2022年11月5日(土) 10時
場所 熊本県労働者福祉会館
3階大会議室
内容 ハラスメント関係講演会
講師 竹下元子氏

連合熊本「青年委員会スポーツ交流会」

日時 2022年11月5日(土)
10時30分(受付)
11時00分(スタート)
終了後、BBQ交流会
場所 どんぐりの森パークゴルフ場
熊本市南区城南町今吉野1000-1

今後の主なスケジュール

10月1-2日 連合九プロ
第7回ユースラリー
2日 菊陽町長選開票
7日 連合熊本2022年度下期会計
監査
9日 宇土市議選告示
12日 連合熊本第9回女性委員会
幹事会
16日 宇土市議選開票
27日 連合熊本第13回執行委員会
連合熊本第27回地方委員会
11月5日 連合熊本女性委員会学習会
連合熊本青年委員会ス
ポーツ交流会